





---

(2)「中小トラック運送事業者向けテールゲートリフター等導入支援事業」を実施します！！

(新着情報)

国土交通省では、新規投資の余力がなく、経営環境が厳しい状況にある中小トラック運送事業者に対し、荷役作業の効率化（荷役時間の短縮・荷役負担の軽減）等に資する

機器の導入費用の一部を補助する「中小トラック運送事業者向けテールゲートリフター等導入支援事業」を実施します。

当該機器の導入を促進することにより、労働生産性の向上・多様な人材の確保を図り、働き方改革を推進します。

※補助事業の執行団体：公益社団法人全日本トラック協会

○申請受付期間（予定）：令和2年2月20日（木）～3月12日（木）

※補助金申請額が予算額（約1億円）を超過した場合、補助金が交付されない場合があります。

○支援内容

令和元年12月13日～令和2年3月31日の間に以下の対象機器を導入したトラック運送事業者に対し、導入費用の一部（通常機器価格の1/6）を支援。

<対象機器>

- ①テールゲートリフター（トラック車両後部に装着する昇降機）
- ②トラック搭載型クレーン（トラック車両の荷台等に装着する移動式クレーン）
- ③トラック搭載用2段積みデッキ（トラック車両内部に設置する組立用デッキ）

詳細については、後日、公益社団法人全日本トラック協会のホームページにおいて公表します。（<http://www.jta.or.jp/>）

---

(3)事業用自動車事故調査委員会の調査報告書の公表について

(配信日：R2.1.31)

今般、下記の調査事案について、報告書が議決されたことを受け、当該報告書を公表いたしますのでお知らせします。

記

- 特別重要調査対象
  - ・大型トラックの追突事故（愛知県岡崎市）
- 重要調査対象
  - ・中型乗合バスの衝突事故（世田谷区）
  - ・タクシーの衝突事故（長崎県平戸市）

※詳細については、下記リンク先をご覧ください。

→ [http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha02\\_hh\\_000406.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha02_hh_000406.html)

---

#### (4) [聴講者募集] 令和元年度自動車安全セミナーを開催します！【中国運輸局発】

（配信日：R2.1.17）

中国運輸局では、事業用自動車の事故削減を目的とし、自動車運送事業に携わる関係者を対象に、平成21年度から「自動車安全セミナー」を開催しています。第11回目となる今回は、健康管理の重要性や事故惹起運転者に対する取り組みをテーマとし、参加者を募集します。

1. 日時：令和2年2月27日（木）13：00～16：00（受付12：00～）
2. 場所：RCC文化センター 7階（広島市中区橋本町5-11）
3. 内容：
  - ①「事業用自動車の安全対策について」  
講師：国土交通省自動車局安全政策課
  - ②「あなたの運命を変える健康～人生を幸せに過ごすための思考術～」  
講師：広島市西区役所厚生部／西保健センター（医務監）
  - ③「トラック事故惹起運転者に対する安全運転講習について」  
講師：中国トラック交通共済協同組合／安全対策部
4. 定員：150名（先着順）
5. 参加費：無料（どなたでも参加できます。）
6. 申込方法：「開催案内」の参加申込書欄に必要事項を記載の上、FAXにてお申し込みください。  
※参加申込書等は中国運輸局ホームページからダウンロード願います。  
→ <http://www.tb.mlit.go.jp/chugoku/gian/jidoushasemina.html>
7. 受付期間：令和2年1月14日（火）～令和2年2月12日（水）  
※定員になり次第締め切らせていただきます。

---

#### (6) 降積雪期における輸送の安全確保の徹底について

（配信日：R1.12.6）

輸送の安全確保については、機会あるごとに注意喚起してきたところですが、依然として毎年雪による自動車事故等が発生しております。

これから本格的な降積雪期を迎える中、気象情報（大雪や雪崩、暴風雪等に関する警報・注意報を含む。）や道路における降雪状況等を適時に把握し、以下の対策等を講ずることにより、輸送の安全確保に万全を期すとともに、事故の防止に努めるようお願いします。

- ①積雪・凍結等の気象及び道路状況により、早期にスタッドレスタイヤ及びタイヤチェーンを装着するよう徹底を図ること。なお、スタッドレスタイヤへ交換する際は、ホイール・ボルトの誤組防止、締付トルクの管理を確実にすること。
- ②点呼時等において、運行経路の道路情報、道路規制情報、気象情報に基づき、乗務員に適切な指示を行うこと。
- ③積雪・凍結時における要注意箇所の把握に努めること。
- ④気象状況が急変し、安全運行が確保できないおそれがある場合は、運行計画の変更及び利用者への情報提供等の適切な措置を講ずること。
- ⑤乗務員に対して、スリップの要因となる急発進、急加速、急制動、急ハンドルを行わないよう指導するとともに、道路状況、気象状況に応じた安全速度の遵守、車間距離の確保について指導を徹底すること。

---

(7)ボルトの錆や左後輪に注意！ 車輪脱落事故3年連続増加「厳しい状況」  
～平成30年度大型車の車輪脱落事故発生状況について～  
(配信日：R1.11.15)

平成30年度のホイール・ボルト折損等による大型車の車輪脱落事故発生件数は81件（うち人身事故3件）と3年連続で増加し、ピークとなった平成16年度の87件に迫る厳しい状況となりました。

事故が発生した車両の傾向として、左後輪に脱輪が集中していることに加え、今般、新たにホイール・ボルトやホイールの錆の除去が不十分のままタイヤ交換されているおそれがあることが確認されました。

ボルトの錆の除去など適正な交換作業の実施、交換後、特に脱輪の多い左後輪の重点点検を大型車ユーザーに求めて参ります。

※詳細については、下記リンク先をご覧ください。

→ [http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha09\\_hh\\_000231.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha09_hh_000231.html)



【メールマガジン「事業用自動車安全通信」】

発行 国土交通省自動車局安全政策課

\* このメルマガについてのご意見は、< [jiko-antai@mlit.go.jp](mailto:jiko-antai@mlit.go.jp) >までお寄せください。

よくある質問（配信登録の解除方法等）

（ <http://www.mlit.go.jp/jidosha/enzen/enzenplan2009/faq.html> ）

\* ご登録されたメールアドレスの変更は、配信登録を解除していただき、新たに配信登録をお願いします。

配信登録を解除する場合は、以下のアドレスで登録解除することができます。

（ <http://www.mlit.go.jp/jidosha/enzen/enzenplan2009/stop.html> ）

【参考】

\* 自動車局ホームページ

（ <http://www.mlit.go.jp/jidosha/index.html> ）

\* 自動車の不具合情報はこちら

最近、自動車に乗っていたら異常発生、なんてことはありませんでしたか。そんな時は、車検証を用意して、国土交通省「自動車不具合情報ホットライン」に連絡です。皆様の声は、車種ごとに、ホームページ上で公開され、メーカーがきちんとリコールをしたり、メーカーのリコール隠しを防ぐために活用されます。

・ ホームページ受付

（ <http://www.mlit.go.jp/jidosha/carinf/rcl/hotline.html> ）

・ フリーダイヤル受付 0120-744-960

（平日9:30～12:00 13:00～17:30）

・ 自動音声受付 03-3580-4434（年中無休・24時間）

\* 自動車のリコール等の通知等があったときは！

使用されている自動車について、自動車ディーラーなどから、リコール又は改善対策の通知が送付されたり、その対象であることが新聞等で公表されたときは、安全・環境への影響から、その自動車の修理を行うことが必要になったということです。道路運送車両法により、自動車ユーザーは、自分の自動車が保安基準に適合するよう点検・整備する義務がありますので、忘れずに修理を受けましょう。

